

日本の「名医中の名医」100人完全ランキング ④

疾患部位	名前	所属・肩書	所在地・連絡先	特長	評価
心臓病	目黒泰一郎	仙台厚生病院 心臓センター長	宮城県仙台市青葉区広町4-15 ☎022-222-6181	外科を含めた合理的な治療選択の姿勢に定評。早期離床、早期退院などのシステム作りも好評	☆☆
	小田弘隆	新潟市民病院 循環器科部長	新潟県新潟市東区山2-6-1 ☎025-241-5151	近県からの難しいPTCA治療を多く受け付け、ヘリ輸送による心筋梗塞の緊急対応も可	☆
	相澤忠範	心臓血管研究所付属病院 副院長	東京都港区六本木7-3-10 ☎03-3408-2151	不整脈の診断と治療を最新の技術、知識、装置、薬で行っている。内科、外科の協力も大	☆☆☆
	齊藤滋	湘南鎌倉総合病院 循環器科部長	神奈川県鎌倉市山崎1302-1 ☎0467-46-1717	PTCAを短時間で処理し、苦痛の少ない手首の動脈を使うカテーテル挿入法の世界的権威	☆☆
	鈴木孝彦	豊橋ハートセンター 院長	愛知県豊橋市大町字五分町2-1 ☎0532-37-3377	日帰りのカテーテル検査、PTCA治療も。PTCAにより冠動脈を再開通させる方法に定評	☆☆☆
	上野勝己	岐阜市民病院 循環器内科部長	岐阜県岐阜市鹿島町7-1 ☎058-251-1101	42歳の気鋭だが、十分な経験を有しロータブレーターなど新治療法を駆使し実績を上げる	☆
	玉井秀男	滋賀県立成人病センター 救急部部長	滋賀県守山市守山5-4-30 ☎077-582-5031	手術によらないカテーテル治療に徹底。DCAという動脈硬化部分を削り取る治療では日本一	☆☆
	加藤修	京都桂病院 心臓血管センター所長	京都府京都市西京区山田平尾町17 ☎075-391-5811	困難症例に対しては、DCA、ロータブレーターなど最新の治療を駆使して国内最高の実績	☆☆
	光藤和明	倉敷中央病院 循環器内科主任部長	岡山県倉敷市美和1-1-1 ☎086-422-0210	年間1000を超える症例を持ち、経験、技量に加え、自身の治療実績を全て明示して説明	☆☆☆
	延吉正清	小倉記念病院 副院長・循環器科主任部長	福岡県北九州市小倉北区真珠町1-1 ☎093-921-2231	PTCA治療実績世界最多で、同分野の第一人者だが、温厚な人柄で多くの人の望を集める	☆☆
脳卒中・脳梗塞	鈴木重晴	弘前大学医学部附属病院 脳神経外科教授	青森県弘前市本町53 ☎0172-33-5111	特にクモ膜下出血の手術には豊富な実績があり、脳深部の腫瘍手術も行う。術後治療も入念	☆☆
	小川彰	岩手医科大学医学部附属病院 脳神経外科教授	岩手県盛岡市内丸19-1 ☎019-651-5111	脳内視鏡手術で好成績をあげている。予防に力を入れ、脳卒中に対する予防外科治療も実施	☆☆
	安井信之	秋田県立脳血管研究センター 所長	秋田県秋田市千秋久保町6-10 ☎018-833-0115	脳動脈瘤破裂の急性期の手術実績には定評がある。加えて予防面からの脳動脈瘤発見に努める	☆☆☆
	吉本高志	東北大学医学部 脳神経外科教授	宮城県仙台市青葉区星ヶ丘1-1 ☎022-717-7230	顕微鏡を用いた開頭手術、カテーテルを用いた血管内手術など各患者に最適な手術に定評	☆☆☆
	児玉南海雄	福島県立医科大学附属病院 脳神経外科教授	福島県福島市光が丘1 ☎02-4548-2111	脳動脈瘤の診断、治療に特に力を入れている。クモ膜下出血後では脳血管造影の予防に詳しい	☆☆
	岡田慶一	黒沢病院 副院長・脳神経外科部長	群馬県高崎市中原町3-19-2 ☎027-352-1166	高気圧酸素療法による治療件数も多く、ヘリカルCTなど最新装置によるチーム医療を行う	☆☆☆
	山浦晶	千葉大学医学部附属病院 脳神経外科教授	千葉県千葉市中央区東1-8-1 ☎043-222-7171	予防を含めた総合的医療をめざし、クモ膜下出血の恐れがある脳動脈瘤にはチームで対応	☆☆☆
	水上公宏	千葉脳神経外科病院 理事長	千葉県千葉市稲毛区長沼原町408 ☎043-250-1228	脳卒中手術実績は6000例以上を数える脳疾患専門の単科病院。脳ドックでは先駆者である	☆☆☆
	河瀬斌	慶応義塾大学病院 脳神経外科教授	東京都新宿区信濃町35 ☎03-3353-1211	『河瀬の三角』と世界的に轟く頭蓋底脳手術法を開発。脳動脈瘤など手術数は1900例を超す	☆☆☆
	田村晃	帝京大学医学部附属病院 脳神経外科主任教授	東京都板橋区加賀2-11-1 ☎03-3964-1211	脳動脈瘤や脳血管障害改善の手術数も多く、クモ膜下出血の死亡率は4%前後と極めて低い	☆☆☆
齋藤勇	杏林大学医学部附属病院 脳神経外科教授	東京都三鷹市新川6-20-2 ☎0422-47-5511	高度救命センターを持つ。脳低温療法のほか血管内手術や放射線外科など高度先進医療も行う	☆☆☆	
宇高不可思	住友病院 神経内科	大阪府大阪市北区中之島5-2-2 ☎06-6443-1261	患者に情報開示を率先して行っている。老年医学の研究と臨床をしている数少ない医師	☆☆	
橋本信夫	京都大学医学部附属病院 脳神経外科教授	京都府京都市左京区聖護院町54 ☎075-751-3111	脳動脈瘤を中心とする手術件数は年間400件を超す。国内唯一のナショナルセンターである	☆☆☆	
藤島正敏	若杉病院 西日本産業衛生研究所所長	福岡県糟屋郡栗東町大字田中275 ☎092-947-0511	脳卒中と高血圧の関連を研究し、データ数は日本一。データに基づいた治療では最高権威	☆☆	
小林祥泰	島根医科大学附属病院 第3内科教授	島根県出雲市塩冶町89-1 ☎0853-23-2111	脳ドックを通して無症候性脳梗塞の発見と治療、研究に取り組んでいる。救急体制も万全	☆	

敏教授の肝臓ガン手術の技術は、他の医師が口を揃えて「世界一」の「神技」などと、称賛を惜しまない。他の医師が匙を投げたような患者でも、幕内教授のメスがその患者の命を救うことも多い。

しかも、執刀時間が短く、患者の出血も最小限に止めるため、術後の回復も著しく早いという。それほど腕をもちながら、誰もが幕内教授の執刀を受けることが可能で、手術は必ず自分で行う。そうした人間性の面でも、医師仲間から高く評価されている。

また心臓病の分野では、他の分野より一層、担当する症例数（症例）が重要とされる。新東京病院の天野篤医師（外科）は、年間380例以上の冠動脈バイパス手術を行う。ダンツの存在だ。天野氏もやはり、必ず執刀は自分で行い、患者に対する責任を果たしている。

「医師は患者を選ぶことができないが、患者は医師を選ぶことができる」。医療の分野ではそう言われるが、今回本誌が作成したランキングを参考に、ぜひ自分や家族の命を救う「名医」を見つけてほしい。